

2021年3月30日

寺島知恵子さんを偲ぶ

上原昇（65期）

今日（30日）に白井さんのメールで寺島知恵子さん（58期）の逝去を知って、びっくりしています。闘病生活を送られていることは承知していましたが、こんなに急にお亡くなりになるとは思ってもみませんでした。

1月の終わりに、寺島さんから『孫たちに伝えたい祖母里和の生涯』という本を贈っていただきました。病身を押し、1年かけて取材執筆したお祖母さんの思い出を書いたものです。早速読んで、お礼状と気持ちを送ったところ、2月5日に本人から電話をいただき、暫く話をしたのが最後の会話となってしまいました。

皆さんもよくご存知のことですが、寺島さんの関東同窓会に対する貢献は極めて大きなものがあります。会報を繰ってみると、1999年丸山執行部で副幹事長に就任して以来、2002年石井執行部と2005年前田執行部では副会長、2008年白井執行部では監事、2011年から2017年までは顧問と、20年近くにわたり同窓会を引っ張ってきていただきました。私も個人的に大変お世話になりました。

あと、寺島さん（旧姓伊藤）で伝説的に語られるのは、高校時代、アメリカに留学したことです。この話は会報64号座談会の「母校、証言の百年」に詳しく載っています。

手元のあった「母校百年史」の58期のページにはその時の様子が紹介されていますので、そのページを添付します。

心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌



●58期6組伊藤知恵子さんがAFS(アメリカンフィールドサービス)奨学生としてアメリカへ留学、全国的ニュースでした。昭和35年1月8日、留学先のペンシルベニア州、クラークスサミット高校と上田高との間で“国際電話交歓”が行われました。写真上は上田高校、左はクラークスサミット高校での様子です。このもようは時のアイゼンハワー大統領に報告されました。

第58期

昭和32年～35年（1957～1960）

